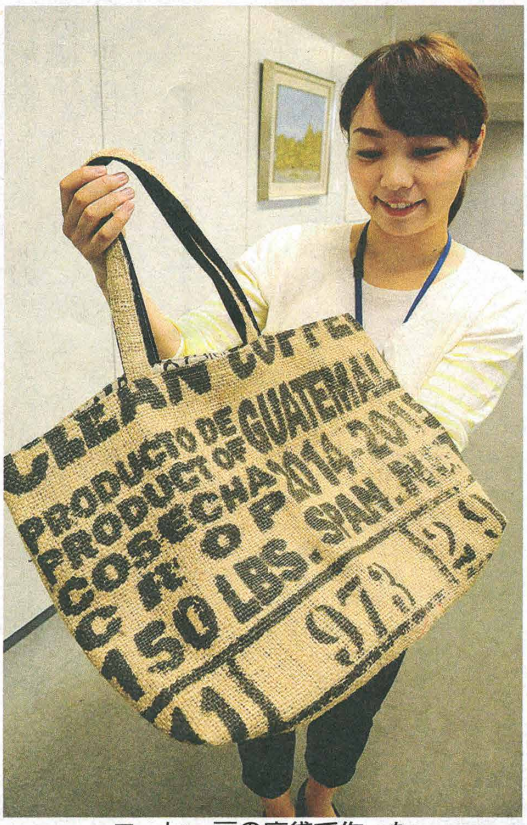
豊田の福祉施設

おしゃれなバッグ 商品化

コーヒー豆 麻袋を加工

輸入時にコーヒー豆が入っていた麻袋が、おしゃれなトートバッグに生まれ変わった。豊田市の福祉施設が、コーヒーの焙煎（ばいせん）工場から袋を譲り受け、加工し商品化した。袋に印刷されたコーヒー産地の言葉をデザインとして生かした手作り品だ。（河北彬光）



コーヒー豆の麻袋で作ったトートバッグ＝豊田市で

加工を手掛けるのは、保見町の障害者施設サン障害福祉サービス（通称サン・ワークショップ）。豆を焙煎している西中山町の「ポッカサッポロ豊田工場」から不用な袋をもらい、利用者や職員ら五人がはさみで裁断した上で工業用ミシンで縫い上げる。

麻袋の輸出元は、グアテマラやメキシコ、ブラジル、ベトナム、タンザニアなど多岐にわたり、袋には産地名やその国の言葉が印刷されている。施設職員の高橋京子さん㈣は「印刷をそのまま生かしているのでトートバッグの仕上がりも一つずつ異なる」と話す。

商品化は、ポッカサッポロフード&ビバレッジと豊田市がまちづくりの連携協定を結んでいる縁で企画。ポッカサッポロが工場から不用な袋が出ることを市に相談し、障害者施設につないだ。

手作業のため一日に二、三個しか作れない。大きさもそれぞれ異なり、価格は税込みで千三百～二千円。ポーチや筆入れ、巾着袋も三百～八百円でそろえる。

サン・ワークショップと、名鉄豊田市駅前の商業ビル「A館T－FACE」九階のアンテナショップ「きらり」で販売している。

㈹サン・ワークショップと同じ法人が運営する豊田西病院＝0565（48）8331

豊田版

ハス
持田 隆子
パレットの会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

豊田支局 〒471-0849
豊田市美山町3－34－34
0565-24-1010 Fax25-1118
岡崎支局 〒444-0863
岡崎市東明大寺町16－18
0564-22-1661 Fax25-1554
刈谷通信局
0566-21-0077 Fax26-0285
安城通信局
0566-76-3355 Fax76-0900
西尾通信局
0563-56-3135 Fax56-3136
碧南通信局
0566-41-0468 Fax43-1047
豊橋総局
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051（代）

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

「平成27年8月6日　中日新聞　豊田版　より」